



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
 一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひの かふち

《学校だより》 第18号
 令和2年12月24日発行
 湯河原町立湯河原小学校
 校長 北村和裕

2020年が終わろうとしています。今年の漢字トップ3は「密」「禍」「病」だそうです。新型コロナウイルス感染症が大流行した今年を象徴する漢字ばかりです。この感染症の影響によって、学校も3月から5月の終わりまで全国一斉に臨時休業という前代未聞の措置がとられました。全く初めてのことなので、子どもたちや保護者の皆さまも戸惑い、ご苦労されたことと思います。学校も対応に苦慮しました。学校再開後も、新型コロナウイルス感染予防対策をしての教育活動を強いられました。特に、遠足、運動会、修学旅行などの学校行事は、「密」を避けるため、縮小や内容の変更をせざるを得ませんでした。子どもたちは、このような状況の中でも精一杯活動し、1つ1つの行事ごとに得るものがあつたのではないかと思います。また、保護者の皆さまにも感染症対策ということで、例年はない対応をお願いするばかりでしたが、いつもご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。



すっかり落ちてしまったケヤキと銀杏の葉

年が明けても、コロナ禍は変わらないでしょうが、知恵を出し合い、心を1つにしてみんなで乗り切っていきましょう。よいお年をお迎えください。

湯河原に宿泊した修学旅行

12月15・16日に6年生は修学旅行を実施しました。行き先は、1日目が横浜・八景島シーパラダイス 2日目は箱根で、宿泊は湯河原小のすぐ近くにある『ホテルあかね』でした。

当初は、例年通り日光に行くことを考えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、現地で体調不良となった時、保護者の方に日光までお迎えをお願いする可能性が出てきました。そうすると保護者やそのお子さんに大きな負担がかかることとなります。そこで、湯河原町の3つの小学校は、湯河原町教育委員会と何度も協議を重ね、体調不良の時など保護者の対応が迅速にできる地元の湯河原に宿泊することにしました。その後は、湯河原町や旅館組合、旅行者などの協力を得ながら準備を進め、12月8日が吉浜小学校、15日が東台福浦小学校と本校で、宿泊を伴う修学旅行が実現しました。

数日前の天気予報では寒波が襲来し真冬並みの寒さということでしたが、1日目の八景島シーパラダイスはよく晴れ渡り風も少なく、おだやかな天気となりました。グループごとに乗り物や水族館、昼食会場など回る



間隔を開けての夕食

コースを事前に決め、グループで行動しました。夕方に湯河原に戻り、『ホテルあかね』に宿泊しました。最大限の感染症対策をしてスタッフの方に出迎えていただきました。2日目の箱根はさすがに寒くて予定の時間を早めたのですが、バスで再び湯河原に戻ってきたとき、子どもたちには満足感がありました。

例年とは全く違う修学旅行となりましたが、心に残るものになったのではないかと思います。お子さんの体調管理に留意してくださった保護者の皆さま、そして、感染予防に留意しながら、自分たちの力で楽しい旅行になるように努力した6年生に感謝します。

特別教室にもエアコンが

理科室、音楽室、ランチルーム、個別支援室にエアコンが設置されました。湯河原町では、近隣の市町に先駆けて平成23年度から普通教室にエアコンを設置し活用を図ってきました。今回は特別教室にも配備され、子どもたちが日頃使用する教室のほとんどが整備されました。エアコンはこれまで使っていたストーブに比べてやけどの心配がなく安全です。もちろん夏の暑さをしのぐのになくはないものです。感謝しながら大切にに使わせていただきます。



理科室のエアコン